

## 臨時休業延長に伴う西高生へのメッセージ

本日(4月10日)、県知事から本県の「緊急事態宣言」が出されました。それに伴い、県立学校の臨時休業も、5月6日(水)まで延長になります。

4月7日から3日間、学年・クラスごとに臨時登校日を設定し、皆さんの姿や表情に接することができ、私自身は心が和みました。それでも、中には体調がおもわしくないのに無理をして来ている人もいるのではないかと、学習が遅れていくのではないかと不安を抱いている人も多いのではないかなど、いろいろ考えてしまいました。

緊急事態宣言が出ると、当然、さまざまな行動が制限されます。特に、3年生の皆さんには、高校生活最後の1年ですから、それなのに…、とつい愚痴を言ったり、誰かを責めたりしたくなることもあるでしょう。正直なところ、私自身も疲れてくると、愚痴や不平・不満が口に出そうになります。そうしたとき、思い出すのが、東日本大震災の時に、作家の池澤夏樹が言っていたことばです。(これは、始業式が行われていたら、話したかったことばです。)

正直に言えば、ぼくは今の事態に対して言うべき言葉を持たない。自分の中にいろいろな言葉が去来するけれど、その大半はあえて発語するに及ばないものだ。それは最初の段階で分かった。ぼくは「なじらない」「あおらない」を当面の方針とした。

語ること・表現することを生業(なりわい)にしている彼が、語ることばを持たない、というのは、それほど壮絶で凄惨な状況だったということですが、この彼の方針、「なじらない」「あおらない」は、ずっと自分の心に残っていて、私の行動指針になっています。

今もこの言葉を反芻し、自分ができうることを粛々とやっていくしかない、と言い聞かせています。

専門家たちには、科学的な見地や知識を最大限に発揮してもらい、私たち生活者は、「良識」と「知恵」をもって行動したいと思います。いわれのない中傷や差別的な言動、風評被害も耳に入っています。どうか、皆さんは、「自由で明るく - 規律と責任 -」というスクールモットーを念頭に、節度ある言動をお願いします。

この期間を自分にとって最大限プラスになるよう、学習に集中したり教養を深めたりするなど、有意義に過ごしてほしいと思います。

### 【お願い】

- 1 毎朝の検温、体調確認を行い、食事・睡眠を十分にとってください。
- 2 不要不急の外出、三つの「密」は避けるなど、緊急事態宣言で示された内容を守りましょう。
- 3 こまめな手洗いや、可能な限りマスクを着用しましょう。
- 4 臨時休業が長期にわたりますので、学習支援など、臨時登校日等を設ける必要が出てきます。学校としても、最大限の配慮、工夫を考えて実施するよう努めます。

学校公式ホームページやきずなネットで連絡しますので、確認をお願いいたします。